



題材全体の
様子はこちら↑

まずは、題材のねらいと評価規準を設定しましょう

- ねらい**・映画音楽の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識及び技能)
- ・音色、旋律、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、楽曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
 - ・音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、映画音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・映画音楽の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。(知識) ※鑑賞の領域において、技能の指導内容は無い。	①音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ②楽曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

つぎに、ゴールを見据えて題材を構想しましょう

題材の指導と評価の計画

(●…指導に生かす評価 ○…記録に残す評価)

時間	主な学習活動など	知	思	態
1	映画音楽の中から「ジョーズのテーマ」を聴き、思い浮かんだ情景や場面が、どんな音色や旋律、強弱と関連付いているかについて考える。		●	●
2	別の映画音楽を一つ選択し、同じ曲を選んだグループで、思い浮かんだ情景や場面が、どんな音色や旋律、強弱と関連付いているのかについて話し合う。	○	①	●
3	選択した映画音楽の魅力について、紹介文を作成し、音楽を流しながら発表し合い、情景を音で効果的に表す映画音楽の魅力について気付いたことをまとめる。 次時からの創作(風景場面の音楽づくり)の話聞く。		②	○

題材の見通し

映画音楽の鑑賞を通して、思い浮かんだイメージと音楽の特徴との関わりを考えながら、映画音楽の魅力を追究することをねらいとしています。はじめに共通の映画音楽で意見を交流し、次に選択した映画音楽について各自で考えます。違う映画音楽を選択した友達同士で魅力を伝え合うことで、一人では気付かなかった音楽のよさや美しさに気付くことができます。また、次時からの風景場面の音楽創作に鑑賞の学習をつなぐことで音楽に親しむ態度が養われると考えます。



ICTの活用

同じ映画音楽から得られる学級全員の感じ方や傾向を可視化できるテキストマイニングを用いることで、自分とは違った感じ方に触れることができます。聴き取った音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素(本題材では音色、旋律、強弱)ごとにXチャートを使って整理し、友達とXチャートを見合いながら意見を交流します。友達の意見もその都度Xチャートに加筆し保存します。題材の最後にこれまでの学習を見直すことで、映画音楽の魅力を追究し、主体的に味わうことにつながると考えます。

本時のねらい 映画音楽「ジョーズのテーマ」の音色、旋律、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。

この時間は、曲を聴いて浮かんだイメージと、音色、旋律、強弱などとの関連について考えます。友達と意見を交流したり、全体で音を再確認したりすることで、イメージと音楽の特徴との関わりを捉えていきます。個々の感じ方を生かして映画音楽の魅力に迫る第一歩となる授業です。

学 習 活 動

1 「ジョーズのテーマ」を聴き、浮かんだイメージを共有する。

- 全員の意見をテキストマイニングし、感じ方や傾向を共有する。
- 映画音楽の魅力を追究することを確認する。

2 学習課題をつかむ。

イメージと音楽の関わりを探ろう。

3 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。

- 音色、旋律、強弱について知覚し、Xチャートにまとめる。
- 知覚したことに関連するイメージを考える。
- 自分の考えを、Xチャートを基にグループで伝え合う。
- いくつかの関連について、音楽を聴いて確認する。

4 本時の学習をまとめる。

- イメージと音楽の特徴との関わりについて、本時の学習で気付いたことについてまとめ、意見を交流する。

5 本時の学習を振り返る。



生徒の振り返り

音の高さや強弱によって、受ける印象や聴いたときのイメージが変わることが分かりました。音が低いと暗い印象になり、同じリズムが何度も繰り返して強くなることで、迫ってくるイメージが浮かんできました。様々な楽器の音色の特徴を生かして使い分けることで、より怖さを引き出していることも分かりました。次回、別の映画音楽を聴くのが楽しみです。



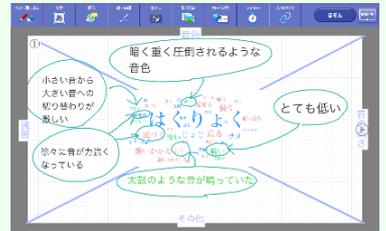
本時の見どころはココ！

- 曲を鑑賞した後に、各自のイメージをテキストマイニングを使って共有することで、曲に対する傾向や、様々な感じ方に気付きます。

なぜみんな同じようなイメージをもつことができるのでしょうか。



- テキストマイニングされた内容を中央に置いたXチャートに、音色、旋律、強弱などについて知覚したことを記入します。知覚したことがどのイメージと関わるか、言葉を線でつなぐことで、友達の感じ方に触れながら考えることができます。



- 関連付けたことについて、タブレットを見せながら伝え合います。友達との交流を通して、自分の考えを広げることができます。



音がだんだん強くなることで、襲いかかる感じを出していると思う。



それって、打楽器の音も関係しているんじゃないかな？

- 教師が音の高さを変換できるアプリを使い、音が高いとどう聴こえるのか曲の一部を比較することで、生徒が考えた関連付けを確認します。



音が高くなったら、怖い感じがしなくなったね。

最後に、題材を振り返り、生徒にどんな力が身に付いたか確認しましょう



映画音楽を鑑賞した後に示したテキストマイニングを見て、なぜみんなが同じようなイメージをもつのかという疑問が生まれました。それを解決するために、音楽の特徴をXチャートで整理し、タブレットに入れた音源を何度も聴き直して特徴を再確認したり、音楽を聴きながら友達と考えを交流したりすることで、題材全体を通して映画音楽の魅力を追究していくことができました。映画音楽にはその作品に合う雰囲気を生み出す魅力があることに気が付き、様々な音楽を聴こうとする意欲の高まりや、次時からの創作に対する見通しにつながりました。